

牛の異常産にご注意ください！

媒介昆虫が活動し始める前＝春のワクチン接種が大切です。

適切なワクチンの接種を実施し、発生を予防しましょう。

【アカバネ病とは】

- ・ アカバネ病ウイルスによる感染症で、異常産を引き起こす
- ・ 伝播経路：カ、ヌカカにより媒介
- ・ 流行時期：夏～秋
- ・ 治療法：なし、ワクチンにより予防することが可能

【症状】

- ・ 成牛（妊娠中の感染）
夏～翌年の春に死流産、
先天性の奇形を伴った体型異常子牛の分娩、難産
 - ・ 四肢の湾曲、脊柱の湾曲および斜頸
 - ・ 内水頭症（大脳欠損症）、頭部の変形
 - ・ 虚弱、歩行困難～起立不能
- ・ 子牛（生後感染）
運動失調、起立障害、後肢麻痺、神経症状等



アカバネ病野外感染例

※アカバネ病の発生予察のための定点観測を

岐阜県内では令和4年6～11月に計4回実施しました。

アカバネ病の抗体価の上昇（感染）は県内では認められませんでした
がR4.9月に沖縄県、11月に北海道、熊本県で抗体陽転が確認されています

【牛の異常産を引き起す昆虫媒介性疾病は他にも…】

- ・ チュウザン病（R4年度 愛媛県、岡山県、高知県、長崎県、熊本県、沖縄県で抗体陽転確認）
- ・ アイノウイルス感染症（R4年度 山口県で抗体陽転確認）
- ・ ピートンウイルス感染症

治療法はなく、下記ワクチンによる予防が可能です。

初回は4週間間隔で2回接種し、翌年から1回接種。

異常産3種混合ワクチン（アカバネ、チュウザン、アイノウイルス）

異常産4種混合ワクチン（アカバネ、チュウザン、アイノ、ピートンウイルス）

◎異常産が発生した際はウイルス感染の有無をはじめとした原因究明のための検査を実施しますので、異状が見られた際には、下記までご相談ください。

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092